

事務事業名		木次図書館管理運営事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	社会教育グループ	課長名	景山修二
	施策名	(28)生涯学習の推進		担当者名	郷原綱代	電話番号	0854-40-1073
	目的:対象	市民	意図	生涯を通じて自ら学び、人生を豊かにする。	(内線)	3650	
	基本事業名	(087)学習環境の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	図書館管理事業	
目的:対象	市民	意図	充実した施設・設備を利用する。	015003	中事業 中事業名	木次図書館管理事業	
				252503	大事業 大事業名		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業内容】 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする社会教育施設の管理、運営 図書館ボランティア(読み聞かせグループ)の養成及びボランティアとの協同事業の実施 開設 平成5年3月～

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 施設管理に関する予算執行、相談業務 【事務事業】 図書の購入、光熱水費の支出事務、相談照会業務、空調機器修繕工事等	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 施設管理に関する予算執行、相談業務等 【事務事業】 図書の購入、光熱水費の支出事務、相談照会業務				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 蔵書冊数	冊	69,898	72,368	75,889	77,000
	イ 開館日数	日	266	266	261	261
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	・市民	ア 市民(国勢調査推計)	名	40,548	40,055	39,472	39,458
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	・住民に親しまれる図書館運営を目指すとともに、生涯学習情報の提供を行う。 また住民の多種多様な自主的学習の要求に応え、教養を高める。	ア 来館者数	名	37,975	38,475	40,441	40,500
		イ レファレンス(相談)件数	件	1,572	1,582	1,619	1,650
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
光熱水費1706千円、修繕費421千円、通信運搬費33千円、施設管理運営委託(保守点検等)678千円、工事請負費(エアコン修繕)1,868千円、備品(図書等)(ふるさと納税含む)購入費5,428千円、その他(賃借料等)228千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	2,436	3,300	5,505	2,361
	一般財源	千円	2,614	5,415	4,857	3,221
	事業費計(A)	千円	5,050	8,715	10,362	5,582
	人件費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	100	100	100	
	延べ業務時間	千円	392	389	389	
	人件費計(B)	千円	5,442	9,104	10,751	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成23年度より榊キラキラ雲南へ図書館業務を委託し、3館一体的な運営が可能となった。H25年度に20周年を迎え、施設が老朽化しており、設備、備品の故障が相次いでいる。	・蔵書のデータベース改善 → 市立図書館3館と学校図書館をネットワーク化し、蔵書情報を共有できるようにした。 ・図書館運営の変更 → 柔軟な図書館運営及び図書館職員の待遇改善のため、業務委託を行った。	・図書館業務委託に際しては、当初不安視もされたが、滞りなく運営され、サービスの向上にも繋がっている。

事務事業名	木次図書館管理運営事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・学校教育との連携・協力や各種団体や公共施設との連携により相乗効果を発揮することも可能である。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
B 有効性	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>平成24年度より業務委託を複数年契約とした。長期的に業務委託をすることによって、より多岐にわたるサービスの向上や柔軟な図書館運営が期待される。</p> <p>・雲南市の図書館行政と民間業者による管理運営ノウハウを相乗的に発揮することによって、ソフト・ハード両面における図書館の充実を図る。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			